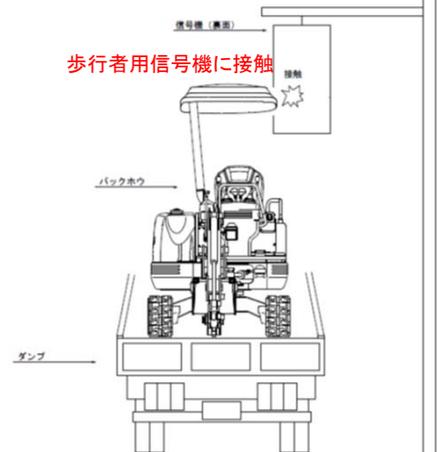


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年10月 1日(月曜日) 9時 00分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	歩行者用信号機の破損			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	歩道舗装の本復旧を行うため重機(バックホウ)をダンプトラックに積んで作業ヤードに進入させ、歩行者の通行確保のためにダンプトラックを車道側へ寄せようとした際に、歩行者用信号機に接触し損傷させたもの。						
事故原因	専門業者に現場周辺で建設機械等による、架空線等の上空施設に接触、切断の危険性の周知が不十分で、ダンプトラックの運転者が周辺の道路付属物の位置を確認すべきところを怠り、合図者を配置せず、単独で前進作業を行った。						
改善策	安全研修を実施し下記のとおり行うこととした。 1.専門業者での施工において、下請け作業責任者と現地にて作業条件や架空線等上空施設物等への危険を防止する措置を事前に説明を行うようにした。 2.ダンプトラック等の搬出・搬入作業においては、誘導員の指示・合図により作業を行うようにした。 3.下請業者や作業従事者に建設機械等の搬入等は、占用帯や交通誘導員の適切な配置を確認して作業を行うようにした。 また、現場条件に応じ、作業前日までに現場の事前確認を行い、再発防止に努めることとした。						

事故状況図



改善状況図



架空線等上空上空施設物確認状況

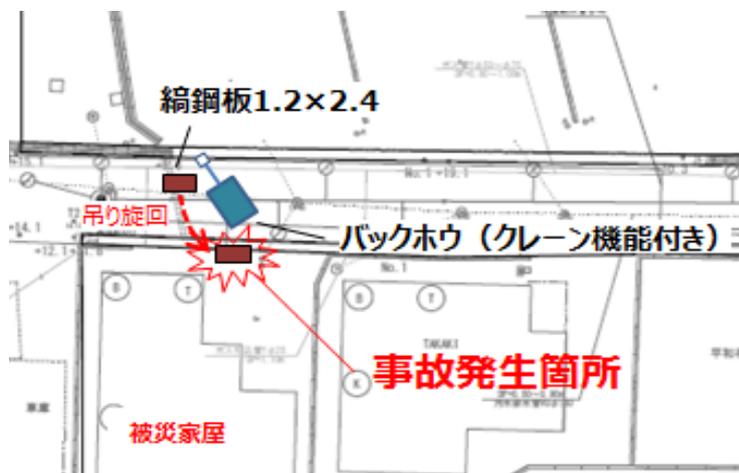


歩行者用信号機接触事故に伴い事故防止について緊急安全研修

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年10月25日(木曜日) 16時45分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	家屋の土間コンクリートの破損			事故レベル	I	休業見込日数	なし
工事概要	自由勾配側溝布設工						
事故概要	側溝布設のため掘削した箇所に鉄板を架けるためクレーン機能付きバックホウで鉄板を吊り上げ、アームを伸ばした際、バックホウが転倒し、家屋の土間コンを破損させたもの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレータが、バックホウの吊り能力を正確に把握していなかったこと。 ・バックホウの仕様をクレーンモードに切り替えずに吊り作業を行ったこと。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーンモードへの切替注意表示を運転席のスイッチ付近に貼付した。 ・クレーンモードへの切り替え後のランプ点灯を現場代理人が確認する。 ・合図者の指示のもと、吊り作業を行う。 						

事故状況図



平面図



状況写真

改善状況図



運転席に注意標示を貼付

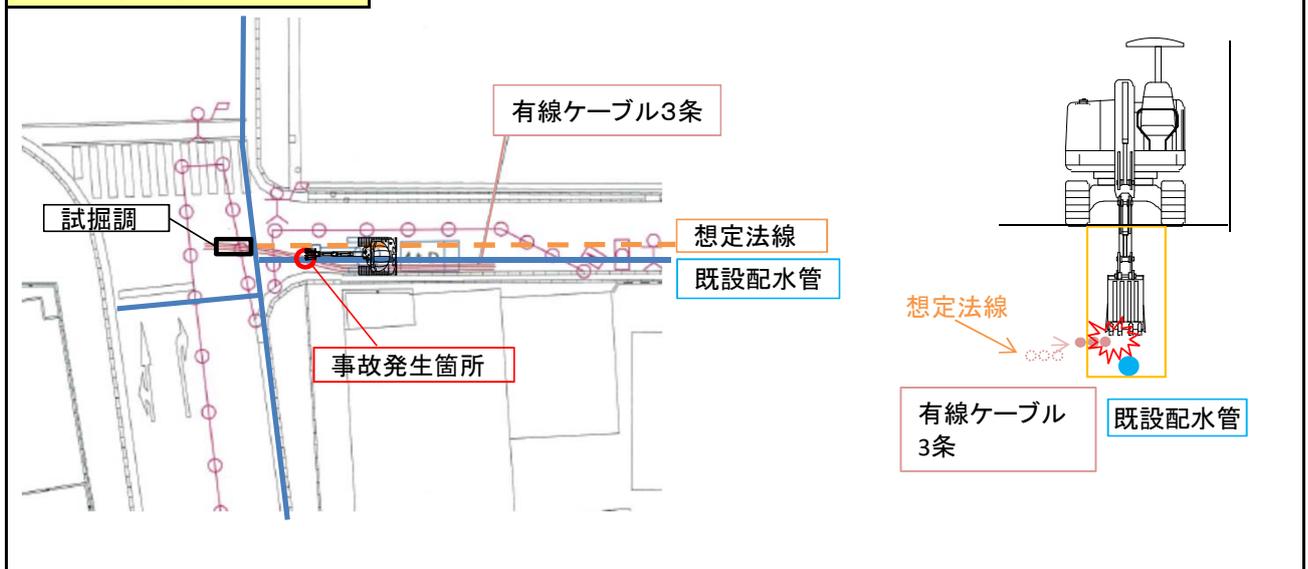


合図者の指示による吊り作業の状況

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年10月 1日(月曜日) 10時15分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢		業種区分	土木
被災程度	有線ケーブルの損傷			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	既設管を撤去し新設管を布設するためにバックホウで掘削中に、有線ケーブルを損傷させた。						
事故原因	試掘調査時に、設計図書に記載がない当該ケーブルは、施工区間に埋設されていることを認識していたが、当該埋設物管理者との協議確認を怠ったこと、当該ケーブルの法線を試掘箇所から道路に平行に埋設されていると想定し、機械掘削を継続したこと。						
改善策	再発防止の為に安全研修を実施し、作業従事者の安全意識向上を行った。						

事故状況図



改善状況図



安全研修実施内容

- ・事故の原因及び反省点
- ・埋設物事前調査の徹底について
- ・地下埋設物発見時の手掘の徹底について
- ・作業従事者間での情報共有について

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成 30年 10月 10日(水曜日) 11時 30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	設備
被災程度	集合住宅8戸一時停電			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	市営住宅住戸改善工事に於ける設備の改修工事						
事故概要	・トイレ内からメーターボックス側に向かってダイヤモンド穴明けを実施した際、コンクリート壁内の隣住戸の電気配線を切断損傷した。						
事故原因	・ダイヤモンドコア施工を行う際、見える範囲の電気配線等のボックス類には十分注意していたが、コンクリート壁内の配線においては、金属探知機を用いての調査をせずにダイヤモンドコア施工場所を決定し、穴明けを実施した事による、工事前の確認不足。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 作業前のKY活動にて、作業手順及び危険箇所の周知・共有を行い、作業員全員で再発防止に努める。 事前にダイヤモンドコア施工箇所を金属探知機にて壁内の電線管の確認等を必ず実施し、配管・配線が無い箇所をダイヤモンドコアにて穴明けを行う。 チェックリストを作成し、金属探知機・コア穴明け実施者名・実施日時を現地で記入し、金属探知機検査漏れを防ぐ運用を行う。 						

事故状況図

【平面図】

【コア明け部】

【コア明け50φ】

【破損電線】

改善状況図

【KY活動】

【金属探知調査】

【チェックリスト】

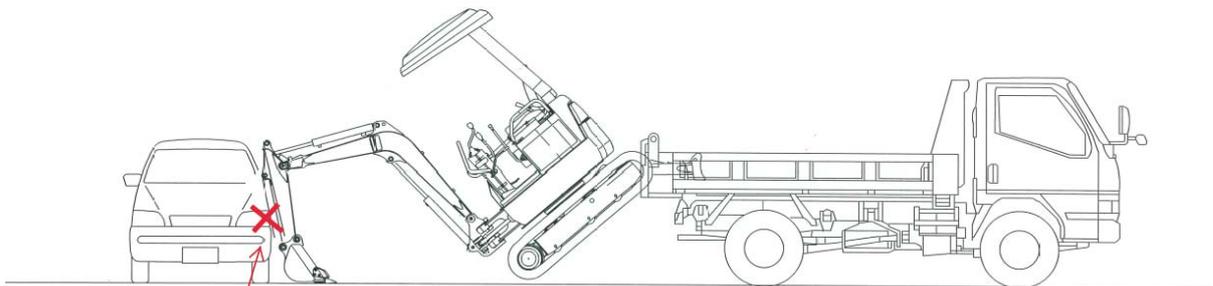
コンクリート探知機調査・コア チェック表

棟名	住戸番号	確認者	確認日時	確認結果	確認場所
1号室	101	確認	確認	確認	確認
	102	確認	確認	確認	確認
	103	確認	確認	確認	確認
	104	確認	確認	確認	確認
	105	確認	確認	確認	確認
2号室	201	確認	確認	確認	確認
	202	確認	確認	確認	確認
	203	確認	確認	確認	確認
	204	確認	確認	確認	確認
	205	確認	確認	確認	確認
3号室	301	確認	確認	確認	確認
	302	確認	確認	確認	確認
	303	確認	確認	確認	確認
	304	確認	確認	確認	確認
	305	確認	確認	確認	確認
4号室	401	確認	確認	確認	確認
	402	確認	確認	確認	確認
	403	確認	確認	確認	確認
	404	確認	確認	確認	確認
	405	確認	確認	確認	確認

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年10月18日(木曜日) 9時 10分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	車両・自転車等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	設備
被災程度	車両助手席側フロント部分を損傷			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	小学校内部改造衛生設備工事						
事故概要	建設機械(バックホウ)を運搬車両(トラック)に積んで作業ヤードに進入したところ職員の車両があったため、作業ヤード外でバックホウを降ろそうとした際に、駐車場に止めてあった車両に接触し損傷させたもの。						
事故原因	下請作業員が単独で搬入し、指示された作業ヤード内に職員の車両があったため、積降ろし作業を別な場所に移動し行っていたため。 積降ろし作業は道板を用いて行う手順としていたが、それを下請作業員の判断でトラックの荷台から重機(バックホウ)を直接地面に降ろそうとしたため。						
改善策	再発防止に向けた研修を実施し、下記事項を行うこととした。 ・朝礼時や災防協等の下請の作業員も集まる機会において、現地での危険防止措置及び遵守事項を説明することとし、また、作業手順を遵守するよう周知徹底を図った。 ・現場で作業する全ての作業員に対し、新規入場者教育を行った。						

事故状況図



アームのシリンダーが自家用車に接触

改善状況図

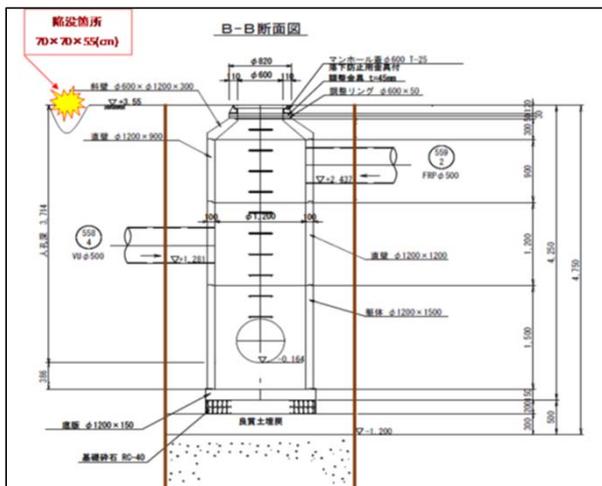


再発防止に向けた研修。

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年10月14日(日曜日) 12時00分頃			工事関係者区分	元請け
事故区分	陥没	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	車道陥没(70cm×70cm 深さ55cm)			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	下水道工事(側溝布設)						
事故概要	下水道工事に伴うFRPφ500管布設工事において、立坑および既設合流管が近接している狭所での施工でかつ、掘削深も深く地下水も高い箇所であったため、復旧時の埋戻し等が不十分となり、圧密沈下が発生し道路が陥没した。						
事故原因	既設合流管の周辺が転圧機械を使用できない箇所であり、人力にて埋戻しを行ったが、地下水もあった為、転圧不足により圧密沈下を起こしたことにより、陥没したもの。						
改善策	事故再発防止研修を実施し、障害物等に隣接して工事を行う際は、事前に一日の作業手順を詳細に検討し、施工方法や手順を立案することにより、路面維持管理の安全巡視等を見直し安全意識の向上を図った。						

事故状況図



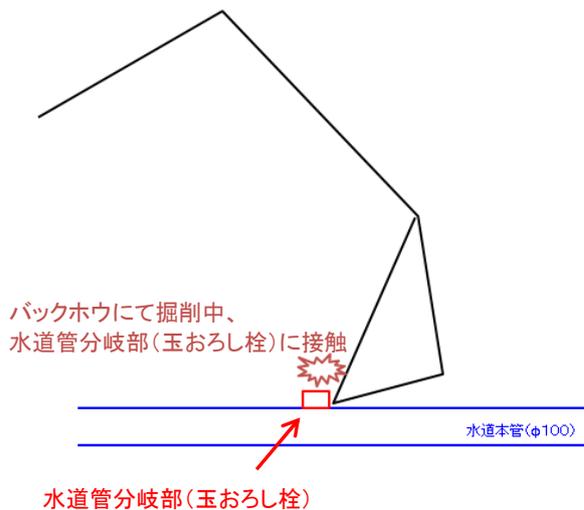
改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年10月22日(月曜日) 15時50分頃			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	水道管の分岐部(玉おろし栓)の破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	道路舗装工事						
事故概要	側溝を布設するため、バックホウにて掘削を行っていたところ、歩道部に埋設された水道管の分岐部(玉おろし栓)に接触し破損させたもの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> 重機のオペレーターが水道管横に埋設されたガス管に気をとられたこと。 埋設物に近接した掘削作業を人力ではなく、機械で行ったこと。 						
改善策	埋設物近接箇所における施工方法(機械掘削または人力掘削)の選択ルール(埋設物との離隔)を確認した。また、安全訓練を実施し、埋設物の位置や埋設物近接箇所における作業手順の再確認を行い、事故再発防止に努めることとした。						

事故状況図



改善状況図

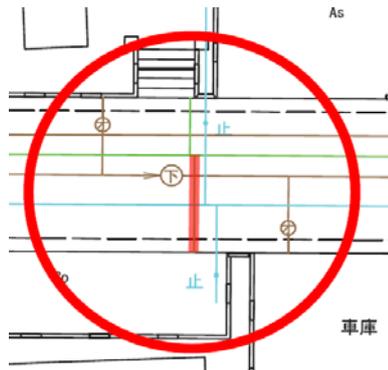


再発防止に向けた安全訓練の実施

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年10月29日(月曜日)10時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス管(φ25ポリエチレン管)を破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	新設管を布設するため機械掘削をした際に、ガスの供給管を破損させたもの。						
事故原因	埋設物付近の掘削作業は人力にてスコップで確認し、バックホウで掘り下げる手順で作業を進めていたが、重機のオペレータの操作ミスによりバケットが想定よりも深く掘削をしたことと、供給管を人力による確認を怠ったため。						
改善策	<p>安全訓練を行い、再発防止として下記のことを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下埋設物の付近を掘削する作業においては、事前に試掘にて露出確認等を行う。 ・機械掘削と人力掘削との境目を定め、目印等の保安措置を講じる。 						

事故状況図



改善状況図

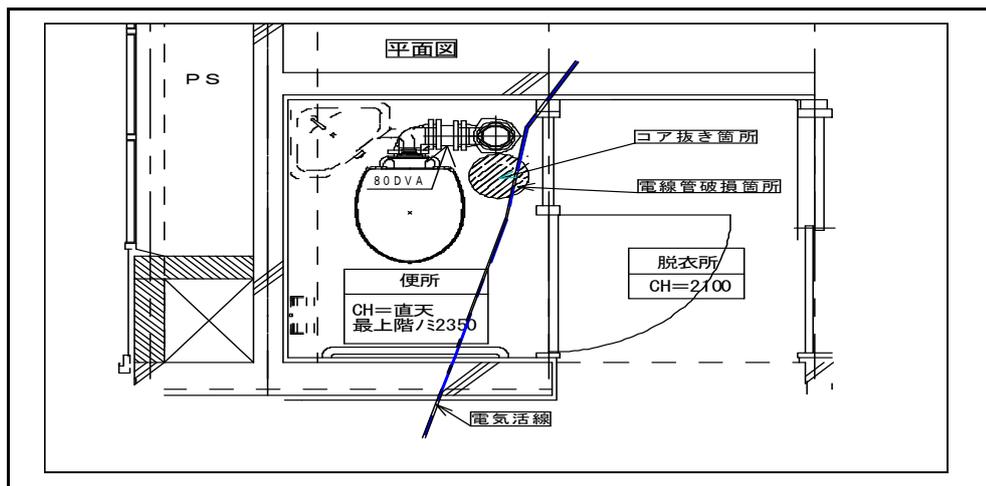


再発防止に向けた安全訓練を実施する。

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成30年10月22日(月曜日)10時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	設備
被災程度	集合住宅2戸一時停電			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	平成30年度市営板付住宅25棟住戸改善管工事						
事故概要	雑配水縦管を設置するために、便所の床にダイヤモンドコア機で穿孔作業を行った際に、床スラブ内の電線管を損傷させた。						
事故原因	ダイヤモンドボーリング穿孔箇所の埋設配線・配管等の調査不足。 ダイヤモンドボーリング穿孔工事と電気配線工事に関する段取り等調整不足。						
改善策	災害防止協議会で各施工者の施工範囲を資料で確認と作業手順の密な打ち合わせを行うように改善した。 ダイヤモンドボーリング穿孔箇所の埋設配線・配管等の確認・調査を金属探知機にて確実に実施するようになった。						

事故状況図



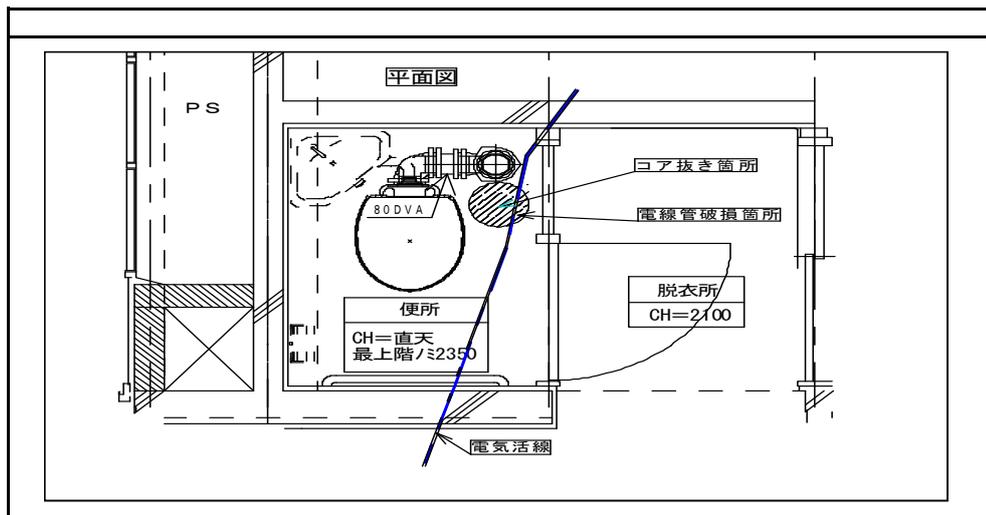
改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成 30 年 10 月23 日(火曜日) 10 時 00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	設備
被災程度	集合住宅3戸一時停電			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	—
工事概要	平成30年度市営板付住宅25棟住戸改善管工事						
事故概要	雑配水縦管を設置するために、便所の床にダイヤモンドコア機で穿孔作業を行った際に、床スラブ内の電線管を損傷させた。						
事故原因	ダイヤモンドボーリング穿孔箇所の埋設配線・配管等の調査不足。 ダイヤモンドボーリング穿孔工事と電気配線工事に関する段取り等調整不足。						
改善策	日々のKY活動時に当日の作業内容に応じた詳細な危険予知の周知を実施するようにした。						

事故状況図



改善状況図

